

(岡山市立)

馬屋下

久世謙介(6年)書

【学校名】 まやしも・小学校
 【所在地】 岡山市松尾105-1
 【校長】 平野和司
 【児童数】 141人
 【教育目標】 ひびき合い、笑顔あふれる子どもの育成
 【沿革】 明治23年、尋常驛小学校として設置。大正3年、驛尋常高等小学校となり、同15年に馬屋下尋常高等小学校と改称した。昭和16年、馬屋下国民学校となり、同22年、馬屋下小学校となった。平成2年に分離し現在に至っている。
www.city-okayama.ed.jp/~mayasimos/
 HPアドレス

私たちが
つくった
紙面です



「馬屋下っ子農園」米作り

昔ながらのきねとうすを使ってもちつき

AMDA募金

やさしい「気持ち」

月3回10年以上続く

馬屋下小では、運営委員会がみんなが募金をしてくれるよう中心となり、毎月ゼロのつく日に、ポスターを作ったり、昼の校（十、二十、三十日）に、AM内放送で呼びかけたりして、いまDA（本部・岡山市）の募金活動しています。

みんなのやさしい気持ちが集まると、AMDAとは、災害を受けたら、運営委員が代表で、本部に協力しています。

国や地域に、医療や食糧などの支援活動をしているNPO法人に直接持って行きます。これからもこの活動を続けて、たくさんの人々を助けたいです。

この募金活動は、十年以上も続いています。運営委員会では、今井裕介（6年 橋本繭子、片山湧斗）



募金を本部に持参し、記念撮影

私たちは毎年、学校のそばにある「馬屋下っ子農園」で、地域の人が中心となって脱穀を教えてもらいながら、米作りをしています。

十二月の収穫祭には、六月、全校児童が、自分たちが育てたもち米だしになって田んぼに入ってもちつきをし、つきたり、手作業で田植えをしてのもちを保護者や地域です。初めての一年生にのみなさんといっしょに

全校児童も

地域の人も

楽しく交流

は、なかよしペアの六年生が植え方をやさしく教えます。

この米作りを通して、稲がぐんぐん育っている間は、五年生が成長を観察したり、かかしを作っています。

十月には、全員がかま初季、高橋みずき

稲がぐんぐん育っている間は、五年生が成長を観察したり、かかしを作っています。

（6年 久世謙介、谷川礼奈、坪井風香、伊丹